

水害時の衛生対策と消毒方法

大雨等による水害により、浸水被害のあった地域では、衛生環境が一時的に悪化し、下痢などの感染性胃腸炎や食中毒が発生しやすい状況になります。

被害にあった方、また、被害地域の片付けなどに携わる方は、家屋などの消毒を行うとともに、仕事の後、トイレの後、食事や調理前などは、流水とせっけんによる手洗いや消毒を行い、感染症を予防しましょう。

なお、盛岡市では、床上・床下浸水した世帯を対象に、石灰や逆性せっけん液(オスバン液)を配布しています。

<石灰などの配布についてのお問い合わせ>

問い合わせ先 : 盛岡市保健所 指導予防課

電話: 019-603-8244

衛生対策について

家屋等が浸水した場合、次のとおり洗浄及び衛生対策を行ってください。(消毒方法は裏面参照)

床上浸水の場合

1. 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
2. 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。
3. 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
4. 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
5. 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
6. 食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

床下浸水の場合

1. 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
2. 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。

食中毒、感染症の予防に

1. 受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
2. 水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった食品はできるだけ廃棄してください。
3. からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診してください。
4. 食事の前や用便の後などは、しっかりと手を洗ってください。

消毒方法について

消毒薬は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります(使用は必要最小限としましょう)。

また、使用の際には、取り扱い説明書に従い、事故が起こらないよう注意してください。

<参考> 消毒方法の例 (色々な濃度のものが市販されているので希釈倍率には注意してください。)

消毒対象	消毒薬	調整方法(例)	使用方法
屋外・床下用 (し尿槽や下水があふれた場所、動物の死骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下)	石灰(白い粉状のもの) ※顆粒状のものは効果が期待できません	そのまま使用する。 (調整の必要はありません)	浸水した床下、家の周囲などに全体が白くなる程度(目安300g/平米)、直接散布する。 散布後に、ジョーロなどで水をまき消石灰が飛散しないよう表面を固めると効果的。 (水と触れると発熱しますので、十分に注意し手袋などを使用してください)
屋内 (汚水に浸かった壁面や床、家財道具)	0.1%オスバン希釈液 (塩化ベンザルコニウム液・逆性石けん)	オスバン 10%消毒剤 10mlに水を加えて1Lとする。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、薄めた液を浸した布などでよく拭く。 (噴霧器で噴霧した場合は、濡れる程度に噴霧する。その後、風通しをよくしてそのまま乾燥させる)
手指 (後片付けなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)	0.1%オスバン希釈液 (塩化ベンザルコニウム液・逆性石けん)	オスバン 10%消毒剤 10mlに水を加えて1Lとする。	汚れを石けんで洗ったあと、流水で石けんをよく落とし(石けんが残っていると殺菌力が低下します)、洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いする。その後、乾いたタオルなどで、よくふき取る。
	手指用アルコール消毒液	そのまま使用する。	上記と同様に、手を洗い、水分をよくふき取った後、手のひらに噴霧し、手指全体に乾燥するまですり込む。
食器類	0.02%次亜塩素酸ナトリウム (ハイターなどの塩素系漂白剤でも可)	10%次亜塩素酸ナトリウム 2mlに水を加えて1Lとする。	食器等を水洗いした後、消毒液に5分以上浸し、自然乾燥させる。(家庭用塩素系漂白剤を用いた場合は、水ですすぐ)

◇消毒薬を取り扱う際には、長袖、長ズボン、めがね、マスク、ゴム手袋などを使用し、皮膚や目にかからないように注意してください。

◇消毒薬などが皮膚についた場合、水と石鹼でよく洗い流し、目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

◇消毒薬は使用する直前に希釈し、他の消毒液や洗剤と混ぜないで使用してください。